

ふうきんとう

瞳きらきら にこにこ笑顔

十日町市立下条小学校
令和5年1月16日
学校だより第9号

目標をもち続ける

校長 戸田 孝之

遅い挨拶になってしまい恐縮です。改めまして、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

第3学期の始業式では、子どもたちに次のような話をしました。

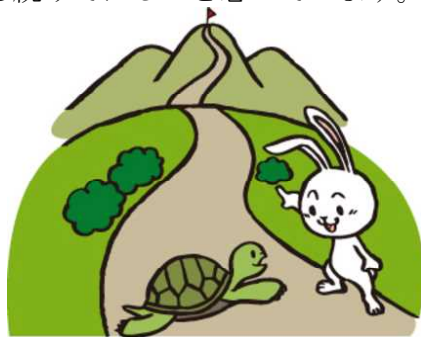
『一年の計は元旦にあり』と言われます。「計」とは計画や目標のこと、「元旦」とは、1月1日の朝のことです。つまり、この1年間でこんなことを頑張りたい、こんなことができるようになりたい……という大きな計画や目標は元旦に決めておくべきである、ということです。皆さんは、もう目標は立てたでしょうか？「まだ」という人も大丈夫です。ここでいう「元旦」は、年が明けてできるだけ早いうちに、という意味ももっています。これからでも間に合うので、早めにしっかりと目標を立ててください。

さて、2学期には、「ゴールをしっかりとイメージすること」の大切さを何度も話しました。「ゴール」とは「目標地点」のことでした。しっかりと目標をもつことで、はっきりとゴールをイメージすることができます。ゴールがイメージできると、今いる場所からゴールに向かって大きな「道」ができます。「道」ができることによって、ゴールまでどのように進んでいけばよいかを考えます。つまり、目標を達成するために、どんなことに取り組んでいけばよいのか、どんなふうに頑張っていけばよいのかをしっかりと考えます。途中で違う道に行ってしまうかもしれません。寄り道をしたくなるかもしれません。でも、大丈夫です。目標地点を確かめ、そのときの自分をしっかりと振り返り、大きな道に戻ればよいのです。もし、いくら頑張ってもたどり着けそうもないゴールであれば、目標地点を変えることもできます。

一つゴールできたら、また別のゴールを目指します。大きな目標、小さな目標、学校での目標、家庭や地域での目標……皆さんには、いつも目標をもち続けてほしいと思っています。しっかりと目標地点を目指すことで、自分の力をどんどん高めていくことができます。

これまで何度か「ウサギとカメ」の話をしてきました。カメが勝った理由として、ウサギの油断だけでなく、それぞれが何を見ていたか、どこを見ていたか、という話がありました。ウサギが見ていたのはほとんどカメでした。一方カメは、ずっとゴールを見ていました。ひたすらゴールを目指し、ゴールまでの道のりを歩きました。

さあ今年はウサギ年です。きっとウサギも目標地点をしっかりと見て、少しでも早くゴールできるよう大きく跳びはねることでしょう。



『目標なきところに道はなし』……私が常に意識している言葉です。子どもたちに話しながら、自分にも言い聞かせています。